

経 由

議 長




政務活動費交付請求書

令和7年7月31日

四日市市長

会 派 名 市民目線の会

代表者氏名 小林 博次 

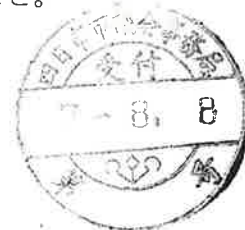
四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、
7年7月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請 求 額 276,931円

2. 政務活動費の対象となる経費

区 分	金 額	備 考
調 査 研 究 費	238,477 ²¹¹⁰⁰ ₂₀₇₃₇₇	視察費
研 修 費	17,862	研修会参加費
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請・陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	20,592	複合機使用料
合 計	276,931	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。



経 理 責 任 者

水谷

内 訳 明 細

令和7年7月分 No. 2

市民目線の会 水谷一未

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	31,100	DMV 視察料金
研 修 費	17,862	研修会参加費
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	48,962	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

領 収 書

No. 004

発行日 令和7年7月16日

四日市市議会 市民目線の会様

金額 **¥31,100** (税込)

但し DMV視察料金 として上記、正に領収いたしました。

▼阿佐海岸鉄道株式会社

徳島県海部郡海陽町穴喰浦字正梶22番地1

登録番号 T4480001006911

TEL(0884)76-3701 FAX(0884) 76-3703

収入
印紙

内 訳	
税込金額	¥31,100
消費税等 10%	¥2,827



備考	[内 訳]
	基本料金 20,000 円
	資料代金 9,000 円 (3,000 円 × 3 名)
	乗車運賃 2,100 円 (700 円 × 3 名)

報告等は収費明細書に添付

請求書番号006
令和7年7月16日

請求書

四日市市議会
市民目線の会 様

▼ 阿佐海岸鉄道株式会社
代表取締役 三浦 茂貴
徳島県海部郡海陽町穴喰浦字正梶22番地1
登録番号 T4480001006911
電話(0884)76-3701 FAX(0884)76-3703

DMV有料視察として以下のとおりご請求いたします。

御請求金額 ￥31,100

(単位:円)

月	日	品名	単価	数量	金額	備考
7	16	視察基本料金	20,000	1	20,000	
	"	視察資料代	3,000	3	9,000	
	"	DMV乗車運賃 上り(大人) 道の駅穴喰温泉発→阿波海南着	700	3	2,100	
合計(税込)					31,100	

10%対象	31,100円	内消費税	2,827円
8%対象	0円	内消費税	0円
非課税対象	0円	内消費税	0円

金融機関等の振込みの場合の手数料は、貴殿のご負担になりますのでご了承下さい。

振込先: 阿波銀行 穴喰支店 普通 0192818 口座名: 阿佐海岸鉄道株式会社

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名		市民目線の会						
参加者氏名		水谷一未						
用務先		恵那市、桑名市						
実施日		令和7年7月24日 (木) ~ 令和7年7月25日 (金)						
目 的		JISSEN~自治体政策青年ネットワーク~						
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当 (1泊目)	(包括)宿泊費 (1泊目)
7/24	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	名古屋 ~ 恵那	68.3 KM	JR	1,170 円	1,530 円	円		
	恵那 ~ 名古屋	68.3 KM	JR	1,170 円	1,530 円	円		
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円		
7/25	四日市 ~ 多度町	25.7 KM	自動車	1,902 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	多度町 ~ 四日市	25.7 KM	自動車		円	円		
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				5,762 円	4,100 円	0 円	0 円	0 円
合 計				9,862				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

JISSEN

～自治体政策青年ネットワーク～
2025年 第2回(第50回)研修会 開催案内

代 表 西 哲史
事務局長 小椋 修平

本研修会は、若年層や自治体を取り巻く諸課題を全国自治体の先進事例や学識有識者等から学ぶことにより地方自治体政策に活かすことを目的としています。このたび研修会を開催する運びとなりましたので、以下のとおりご案内申し上げます。ぜひともご参加いただき、各地の先進事例や実態についても共有いただきますようお願い申し上げます。

日 時	2025年7月24日(木)10時00分～7月25日(金)15時00分迄
場 所	名古屋市役所、恵那市役所、四日市市役所等
参加費	都道府県議会議員／政令指定都市議会議員 12,000円
	東京都特別区議会議員／中核市議会議員 10,000円
	市議会議員 8,000円
	町村議会議員 1,000円
	※元職・候補者の参加費は無料とする。

【プログラム】

■24日

10時30分	名古屋駅集合
11時00分	「骨髄バンク取組支援とがん患者等の妊孕性温存治療費助成事業」 於 名古屋市役所
12時	移動開始
14時	「自治体新電力と自然エネルギーの活用及び地域の発展(仮)」 於 恵那市役所及び恵那電力吉田発電所
17時	移動(四日市へ)

■25日

10時	四日市駅前公共交通利便性向上の取り組み 於四日市市役所
13時	「若者が安心して過ごせる居場所として一軒家の取り組み」 多度ユースセンターライン訪問(視察)
15時	名古屋駅にて解散

以上

No. 2010002

領 収 書

様

領収金額

¥8,000

但 JISSEN 研修会参加費として

令和7年7月24日 上記正に領収しました。

JISSEN (自治体政策青年ネットワーク) 事務局
〒123-0865 東京都足立区新田2-4-27-101

小椋修平



（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 7年 7月 30日

実施日時	令和7年 7月24日（金）14時00分～16時00分
参加者氏名	芳野三重県会議員、西てつし堺市議会議員、鈴木綾子江東区議会議員、おぐら修平足立区議会議員、岩脇圭一津市議会議員、片桐道武京都市議会議員、水野勝康長久手市議会議員、矢澤毅彦安曇野市議会議員、水谷一未、
用務先	愛知県恵那市役所
対応者	恵那市役所 水道環境部環境課 課長補佐鈴木克哉 恵那市役所 水道環境部環境課ゼロカーボン推進室 副室長後藤弘明 日本ガイシ株式会社 CN事業開発エネルギーソリューション1G シニアマネージャー 山中亮一 主任 坂東克起 マネージャー 西庄伸太郎 エネルギー&インダストリー事業本部エナジーストレージ事業部 管理部電力サービスG 岡田欣祐
目的・内容	恵那市が進める再生可能エネルギーの地産地消および災害対応力の向上に向けた取り組みについて学ぶため、蓄電池の導入・運用実態に関する視察を実施した。特に、内閣府地方創生推進交付金（防災・減災・国土強靱化）を活用して整備された蓄電池システムの導入経緯・設置場所・費用対効果・課題などについて 2020年から始まったこの事業では、市役所本庁舎や各地域の防災拠点となる施設（恵那文化センター、図書館、地域ふれあいセンターなど）に蓄電池と太陽光パネルが整備され、災害時に非常用電源として活用可能な仕組みを構築している。また、平常時には公共施設の電力利用に役立てられ、電力購入費の削減にも貢献しているとのことである。
成果・所感	別紙 1

別紙 1

恵那市の蓄電池活用は単なる災害対策にとどまらず、地域エネルギーの地産地消や環境配慮型行政運営に貢献していることが明確になった。特に印象的だったのは、非常時でも市民サービスを継続できる自治体の強靱性を高める取り組みであり、避難所などへの分散設置や活用状況の見える化など、運用面での工夫も随所に見られた。

導入に際しては補助金を活用したことで、財政負担を抑えつつ必要なインフラ整備が可能となったとの説明があり、四日市市においても防災拠点や公共施設の強靱化・脱炭素の観点から非常に参考になると感じた。

今後、四日市市においても、災害対策と環境政策を両立する施策として、恵那市のような分散型エネルギーシステムの導入を検討する余地があると考えます。特に避難所や学校などの施設への導入は、災害時の安心感にもつながるため、市民の安全・安心な暮らしの基盤づくりとしても有効である。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 7年 7月 30日

実施日時	令和7年 7月25日（金）10時00分～12時00分
参加者氏名	芳野三重県会議員、西てつし堺市議会議員、鈴木綾子江東区議会議員、おぐら修平足立区議会議員、岩脇圭一津市議会議員、片桐道武京都市会議員、水野勝康長久手市議会議員、矢澤毅彦安曇野市議会議員、水谷一未、
用務先	四日市市役所
対応者	都市整備部市街地整備課 戸本尚弥課長
目的・内容	<p>四日市市の中心市街地における現状と課題、ならびに再活性化に向けた取り組みや将来構想について理解を深めることを目的として行った。市担当部署より、人口動態や商業施設の立地状況、空き店舗の現状、公共交通との連携、中心市街地活性化基本計画の概要などについて説明を受けた。</p> <p>併せて、民間事業者や地域団体との協働事例、イベント開催による集客効果、今後予定されている再開発計画や公共施設の整備方針についても説明があった。</p>
成果・所感	別紙 1

別紙 1

中心市街地の活性化には、商業施設や公共施設の集約だけでなく、市民が日常的に訪れたいくなる「居心地の良さ」と「回遊性」の確保が不可欠であると感じた。説明の中では、商店街や広場などのオープンスペースを活用したイベント開催や、文化・芸術活動との連動が有効である事例が紹介されており、地域コミュニティの力を引き出す仕組みの重要性を再確認した。

また、交通アクセス改善や駐車場利用の利便性向上、空き店舗の利活用促進など、複合的な施策の同時進行が必要であると認識した。今後は、市民や民間事業者、行政が連携し、持続可能なまちづくりを進めることが求められる。今回の聴取内容は、今後の議会活動において中心市街地の将来像を検討するうえで有意義な参考となった。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 7年 7月 30日

実施日時	令和7年 7月25日（金）13時00分～15時00分
参加者氏名	芳野三重県会議員、西てつし堺市議会議員、鈴木綾子江東区議会議員、おぐら修平足立区議会議員、岩脇圭一津市議会議員、片桐道武京都市議会議員、水野勝康長久手市議会議員、矢澤毅彦安曇野市議会議員、報告書作成 水谷一未
用務先	桑名市 多度ユースセンター ライツ（NPO 法人 太陽の家）
対応者	NPO 法人 太陽の家 理事長 対馬あさみ NPO 法人 太陽の家 事務局長 近藤正明
目的・内容	桑名市における若者支援・居場所づくりの先進的な取り組みである「多度ユースセンター ライツ」の活動内容や運営体制、地域との関係性について学ぶことを目的として実施しました。子どもや若者たちが安心して過ごせる場所のあり方を探り、四日市市での今後の支援施策に活かすための情報収集を行いました。
成果・所感	別紙 1

別紙 1

「多度ユースセンター ライツ」は、NPO 法人 太陽の家が運営する子ども・若者の居場所です。職員の方から、設立の経緯や対象年齢、活動内容について丁寧にご説明いただきました。センターでは、義務教育を終えた若者を対象に、昼間の時間に自由に過ごせる空間を提供しています。

活動の中心は、日常的な居場所提供に加え、週に一度のミーティングや共同炊事など、生活のリズムを整えたり、社会性を育む機会の創出です。特筆すべきは、スタッフが「支援者」として構えるのではなく、あくまで「対等な大人」として接し、若者の主体性を尊重して関わっている点です。この姿勢は、子ども・若者の安心感や信頼関係の構築に寄与していると感じました。

また、地域とのつながりを大切にし、農園を活用した活動や地元企業との関係性も構築されており、孤立させないまちぐるみの支援のモデルとして非常に学びが多いものでした。

「何もしなくてもよい」「居るだけでいい」ことが前提となる空間の中で、自ら一步を踏み出したいと感じた時に、そっと背中を押すような支援があることは、誰ひとり取り残さない社会の実現に欠かせないと改めて実感しました。

四日市市においても、年齢や背景にかかわらず、誰もが安心して過ごせる「居場所」が必要であり、今回の視察内容を今後の政策提言や施策づくりに活かしてまいります。

内訳明細

令和7年 7月分 No. 1
市民目線の会

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	207,377	視察費
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	20,592	複合機使用料、リース料
合 計	227,969	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	市民目線の会							
参加者氏名	田中 徹							
用務先	徳島市・高松市							
実施日	令和7年7月15日 (火) ~ 令和7年7月17日 (木)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
7/15	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 岡山	366.9 KM	JR	8,800 円	5,030 円	円	朝食付 1,600 円	徳島県 14000 円 【上限額】 (14,000 円)
	岡山 ~ 高松	71.8 KM	JR	↓ 円	円	円		
	高松 ~ 徳島	74.5 KM	JR	↓ 円	1,530 円	円		
7/16	徳島 ~ 阿波 海南	77.8 KM	レンタ カー	7,637 円	円	円		
	阿波 海南 ~ 徳島	77.8 KM	レンタ カー	↓ 円	円	円	朝食付 1,600 円	香川県 16100 円 【上限額】 (21,000 円)
	徳島 ~ 高松	74.5 KM	JR	8,800 円	1,530 円	円		
7/17	高松 ~ 岡山	71.8 KM	JR	↓ 円	円	円		
	岡山 ~ 名古屋	366.9 KM	JR	↓ 円	5,030 円	円		
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				26,757 円	14,160 円	0 円	3,200 円	30,100 円
合 計				74,217				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	市民目線の会							
参加者氏名	水谷 一未							
用務先	徳島市・高松市							
実施日	令和7年7月15日 (火) ~ 令和7年7月17日 (木)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
7/15	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 岡山	366.9 KM	JR	8,800 円	5,030 円	円	朝食付 1,600 円	徳島県 14000 円 【上限額】 (14,000 円)
	岡山 ~ 高松	71.8 KM	JR	↓ 円	円	円		
	高松 ~ 徳島	74.5 KM	JR	↓ 円	1,530 円	円		
7/16	徳島 ~ 阿波 海南	77.8 KM	レンタ カー	— 円	円	円		
	阿波 海南 ~ 徳島	77.8 KM	レンタ カー	↓ 円	円	円	朝食付 1,600 円	香川県 16100 円 【上限額】 (21,000 円)
	徳島 ~ 高松	74.5 KM	JR	8,800 円	1,530 円	円		
7/17	高松 ~ 岡山	71.8 KM	JR	↓ 円	円	円		
	岡山 ~ 名古屋	366.9 KM	JR	↓ 円	5,030 円	円	食卓フランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				19,120 円	14,160 円	0 円	3,200 円	30,100 円
合 計				66,580				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	市民目線の会									
参加者氏名	小林 博次									
用務先	徳島市・高松市									
実施日	令和7年7月15日 (火) ~ 令和7年7月17日 (木)									
目 的	視察									
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費		
7/15	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)		
	名古屋 ~ 岡山	366.9 KM	JR	8,800 円	5,030 円	円	朝食付 1,600 円	徳島県 14000 円 【上限額】 (14,000 円)		
	岡山 ~ 高松	71.8 KM	JR	↓ 円	円	円				
	高松 ~ 徳島	74.5 KM	JR	↓ 円	1,530 円	円				
7/16	徳島 ~ 阿波 海南	77.8 KM	レンタ カー	— 円	円	円			(2泊目)	(2泊目)
	阿波 海南 ~ 徳島	77.8 KM	レンタ カー	↓ 円	円	円	朝食付 1,600 円	香川県 16100 円 【上限額】 (21,000 円)		
	徳島 ~ 高松	74.5 KM	JR	8,800 円	1,530 円	円				
7/17	高松 ~ 岡山	71.8 KM	JR	↓ 円	円	円				
	岡山 ~ 名古屋	366.9 KM	JR	↓ 円	5,030 円	円	(3泊目)	(3泊目)		
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円				
	~	KM		円	円	円			食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円				
	~	KM		円	円	円				
	~	KM		円	円	円				
	~	KM		円	円	円				
小 計				19,120 円	14,160 円	0 円	3,200 円	30,100 円		
合 計				66,580						

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					



領 収 書

2025年 7月 8日 発行

№ 955776

カネニ総業株式会社
 四日市営業所 〒510-0075
 四日市市安島1丁目4-16
 ☎ 059-353-8555
 本社 〒510-8001
 四日市市天方須賀1丁目8-26
 ☎ 059-364-0100



市民目線の会

殿

担 当 者
 行藤

入 金 区 分
 現金・振込・クレジットカード・電子決済・その他 ()

金 額
 ¥ 202300

2025年 7月 15日 出 発

上記の金額正に領収いたしました。

ご注意 金額を訂正したもの、複写でないもの、および発行印のないものは無効です。

1/16 田中さん P-T



お客様控え
 (クレジット領収書)
 373358

←レインボ-返却時
給油代

セルフ中洲給油所
 TEL 088-652-2685
 出光リテール販売(株)
 本社 東京都中央区新富一丁目18-8

売上
 登録番号 T2010001126403
 2025年 7月16日
 17:11

TANAKA TORU 様
 クレジット

レギュラーガソリン P-8(内)
 12.95L @165.0 2137円
 01200.00

合計 2,137円
 (内、消費税等(10.00%) 194円)

支払区分：一括
 承認No. 0000670000
 端末識別番号：0817501373358
 端末処理通番：12423 ATC：00D6
 IC/MS識別子：IC
 AID：A000000025010402
 AMEX
 カードシーケンス番号：01

伝No：10123 担当：8800

市民自民会

田中 とおる 様

発行日 2025年07月08日
請求書 No. S0000977-001-0

三重県知事登録旅行業 第2-220号
カネニ総業株式会社
コスモトラベル
〒510-0075
三重県四日市市安島1-4-16
KANENIビル8階
TEL:059-353-8555 FAX:059-353-8557



責任者：渡部 洋丈
総合旅行業務取扱管理者：長尾 徳也
担当者：伊藤 佐和子
適格請求書発行事業者番号：T4190001014613

御請求書

この度は、弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げます。
よろしくお願いいたします。

合計金額	¥ 202,300	入金額	¥ 0	請求金額	¥ 202,300
------	-----------	-----	-----	------	-----------

出発日/2025年07月15日(火) 日数/2泊3日 お問合せ番号/977

商品名/備考	消費税	販売単価	数	販売金額
私鉄代金/近鉄特急	10%	1,280	3	3,840
J R券代金/JR乗車(往路)	10%	8,800	3	26,400
J R券代金/のぞみ13号	10%	5,030	3	15,090
J R券代金/マリンライナー25号	10%	840	3	2,520
J R券代金/うずしお13号	10%	1,530	3	4,590
J R券代金/JR乗車券(復路)	10%	7,470	3	22,410
J R券代金/マリンライナー38号	10%	840	3	2,520
J R券代金/のぞみ34号	10%	5,030	3	15,090
私鉄代金/近鉄特急	10%	1,280	3	3,840
国内宿泊料金/ダイワロイネット徳島駅前	10%	16,300	3	48,900
国内宿泊料金/高松東急REIホテル	10%	16,100	3	48,300
レンタカー/オリックスレンタカー(Sクラス)	10%	5,500	1	5,500
旅行取扱料	10%	1,100	3	3,300

10%請求合計 202,300 (内消費税) 18,390

<お振込口座>

0154 三十三銀行 350 富田支店(とみだ) 普通口座 2002701 カネニ総業(株) コスモトラベル

恐縮ですが、お振込に関わる手数料はお客様にてご負担いただきますようお願い申し上げます。
お振込の控えをもって領収証に代えさせていただきます。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

平成 7 年 7 月 30 日

実施日時	7年 7月15日～17日
参加者氏名	市民目線の会小林博次 水谷一美 田中徹 報告書の作成 小林博次
用務先	○徳島市徳島市立図書館の整備 ○阿佐海岸鉄道株式会社デュアル・モード・ビークルについて ○高松市視察 ○高松中央商店街の再開発事業について
対応者	徳島市市議会事務局 豊田遼平 図書館説明者 徳島市徳島市立図書館 館長 廣澤貴理子 デュアル・モード・ビークルの説明者 阿佐海岸鉄道株式会社 平道知代 高松市都市整備局 石川洋毅 高松市都市整備局中心市街地活性化 波多康太郎
目的・内容	○徳島市立図書館について、平成24年4月徳島市駅前アミコビルに移転リニューアルオープンした移転後の状況について。 新しい図書館は、事業費10億2700万円（延床面積3400m ² ）蔵書能力を50万冊に拡大した。館内はバリアフリー化とユニバーサルデザイン化を図り誰でもが安心して利用できる施設です。 図書館の仕事は、 (1) 市民や市政の抱える様々な課題を解決する支援を行う図書館。（貸出中心のサービスからの脱却）等々 (2) 多種多様な「情報・知識・人・組織」を結び

付ける役割を積極的に果たし、知と交流の拠点となる図書館。(こども達が豊かに生きるための力を身につけ健全な成長を支援する)等々

徳島市の図書館は公設民営で運営していて、市民の憩いの場やこども達が安心して利用できており、今後の図書館運営を含め大変参考となりました。(注) 来館者数は、年間 40 万人

○阿佐海岸鉄道株式会社が運営する「DMV」デュアル・モード・ビークル、は線路を走る時は列車として動き道路を走る時にはバスとして走ることが出来る便利な乗り物について調査した。

事業者は、阿佐海岸鉄道株式会社で「DMV」は、世界で初めて四国で営業運転が 1988 年 9 月 17 日開始されました。

デュアル・モード・ビークルの事業区間は、徳島～室戸～高知の(鉄路区間 10Km)4 駅、停留所 7ヶ所を乗車定数 21 人乗りのバスで運行しています。

(注) 「DMV」の製作費は、一台 1 億 4000 万円

運行当初は、過疎化により鉄道利用者が激減するなかで、市民の足を守るための施策として「DMV」が考えられました。開業した後に域内の高等学校が整理統廃合されたことによる利用客の減少に直面しました。現在は、「DMV」利用客が全国から来てくれることに加えて、外国人観光客が増加にしたよって経営状況は上向きであるとのことでした。

○高松市の民間団体による都市再開発について、その後の発展について調査した。

高松丸亀町商店街再開発事業は、居住人口が 500 人を超えていたが平成 13 年の事業直前前に

は、200人台まで減少していました。このままではと、いうことで商店街成年部による地方の商店街の視察から始める。

・商店街の元気がなくなるのは、お客さんが来なくなるのがきっかけではないんです。

・商店街の衰退は、商店街にお店を持つ商人自身が、商店街を捨てるのがきっかけなんです。

丸亀町商店街再開発事業に取り組むことになりました。再開発のポイントとして、少ない費用で事業を行うために、「定期借地」を利用して事業費用の削減した。

従来型の再開発の場合例えば、(総事業費200億円)土地を買う130億円 建物70億円

丸亀町方式の再開発では、土地を借りる0円建物70億円と初期投資が激減します。

町内に居住者を取り戻すために住宅(マンション建設)整備。

居住者の利便性の向上のために、ライフラインの整備。(診療所・介護施設・生鮮食品4品の市場・子育て支援施設・広場・ホームセンター・温浴施設)等々

車に依存しないで歩いて事足りる街とする。

まちづくり会社による一括運営管理とする。

丸亀町商店街再開発事業のこれまでの取り組みについて。

「A街区」第一種市街地再開発事業、平成13年3月都市計画決定、平成18年11月再開発ビル完成(延床面積約16,600m² 事業費69億円)

「B・C街区」小規模連鎖型再開発事業平成19年12月戦略補助金採択平成22年3月建設工事完了

「G街区」第一種市街地再開発事業、平成13年3月都市計画決定平成24年3月再開発ビル完成

詳細は添付資料を参照してください。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和7年7月30日

実施日時	令和7年7月15日（火）
参加者氏名	<u>市民目線の会 田中 徹</u> 、小林博次、水谷一未
用務先	徳島市立図書館
対応者	徳島市議会事務局 豊田遼平氏 徳島市立図書館 館長 広澤 記理子
目的・内容	別紙
成果・所感	別紙

徳島市立図書館移転・充実事業の概要

新しい図書館の誕生とその特徴

徳島市立図書館は、市民文化の拠点として昭和 56 年に中央公民館との併設で開館しましたが、施設の老朽化や多様化する市民ニーズへの対応が求められるようになり、移転・充実事業が進められました。市民会議やパブリックコメントを通じて意見を反映し、平成 24 年 4 月 1 日に徳島駅前の編み込みビル（駅から徒歩 5 分）へ移転し、リニューアルオープン。

移転・充実の背景と経緯

- 旧図書館は 31 年間にわたりサービスを展開してきたが、設備・立地・規模に課題があった。
- 市民から改善要望が多く、教育委員会が様々な方策を検討。
- 平成 22 年 9 月に移転充実計画を策定し、平成 23 年 9 月より改修工事を開始、平成 24 年 1 月に旧館を閉館。
- 平成 24 年 4 月 1 日に新図書館がオープン。

新図書館の特徴

- 「人と文化が会う駅前図書館」をコンセプトに、駅前という立地優位性を最大限活用し、周辺施設とも連携。
- 延床面積は 3,400 m²と旧館の約 3 倍、蔵書能力は約 50 万冊（約 2 倍）に拡大。
- 5・6 階にゆとりある一般利用スペース（約 2,100 m²）、子ども用スペース（約 1,100 m²）、地下 2

階に書庫、返却ポストを新設。

- バリアフリーやユニバーサルデザインを導入し、全世代・多様な市民が利用できる施設に。
- IC タグの導入や 24 時間利用可能な返却ポストなど利便性も向上。
- 年間経費約 2 億 8,000 万円、事業費約 19 億 2,700 万円。
- 閉館日数は年間約 41 日増加。

まとめ

新しい徳島市立図書館は、市民の意見と時代のニーズを取り入れて駅前に移転し、規模・設備・サービスすべてにおいて大きく充実。市民交流や文化振興の拠点として、誰もが気軽に利用できる施設を目指しているとの事

四日市市では現在、新しい図書館の建設計画が進行中で、いくつかの課題も浮上している。

計画の概要

- **新図書館の候補地**として、当初は近鉄グループが所有する「スターアイランド跡地」が検討されていた。
- しかし、物価高騰などにより複合ビルの工事費が大幅に増加し、近鉄側から事業延期の申し入れがありました。
- その結果、市は**単独での整備方針**に転換し、新たな候補地を検討することに。

現在の有力候補地

- 市は中心市街地の複数の場所を比較検討し、最終的に「**三重機械鐵工駐車場周辺**」が最も適していると判断した。
- この場所は市役所の北側に位置し、敷地の広さや公共施設としての利便性が高いと評価されている。
- 土地の大半を所有する企業からも前向きな回答が得られており、今後は用地取得や建物移転に向けた交渉が進められる予定。

課題と議論

- 市議会では、**すべての土地の購入が困難**であることが報告され、一部は借地となる可能性も示される。
- 一部の議員からは、**計画規模の見直しや別の場所での建設提案**も出されていますが、市は現候補地での実現を目指す姿勢を維持している。

感想

「徳島市立図書館を体験して、知恵は工夫するために最大限利用しなければならないもの、どう考えても、10億でこんなに素晴らしい図書館ができるのであれば、コストと利用者の感想を常にフィールドバックしてゆかなければならないと考えます、私たちが求める図書館が費用対効果が望めることを目指していただきたいと考えます。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和7年7月30日

実施日時	令和7年7月16日（水）
参加者氏名	市民目線の会 田中 徹、小林博次、水谷一未
用務先	阿佐海岸鉄道株式会社
対応者	阿佐海岸鉄道株式会社 平道 和代
目的・内容	別紙
成果・所感	別紙

阿佐海岸鉄道と四日市あすなろ鉄道の、地域密着型の第三セクター鉄道として運営しており、以下のような類似点と共通の問題点があり、今後の参考にしてゆきたい。

類似点

項目	阿佐海岸鉄道	四日市あすなろ鉄道
運営形態	第三セクター(自治体+民間)	第三セクター(近鉄+四日市市)
地域交通+観光資源	DMVで観光誘客+地域の足	ナローゲージ鉄道としての希少性+通勤通学需要
話題性のある車両・形式	世界初のDMV導入	国内でも希少な762mmナローゲージ
沿線人口の減少	過疎地域で利用者減少	都市部ながら沿線人口は限定的
自治体支援の必要性	赤字補填に行政支援不可欠	運営維持に市の財政支援が必要

共通の問題点

1. 収益構造の脆弱性

- 阿佐海岸鉄道では、DMV導入後も赤字が拡大し、2023年度の経常損失は約9,694万円。
- あすなろ鉄道も運賃収入だけでは維持困難で、自治体補助が不可欠。

2. 利用者数の低迷と水増し問題

- 阿佐海岸鉄道では利用者数の水増しが発覚し、実際の乗車人員は予測の半分以下。
- あすなろ鉄道も通勤通学需要はあるが、観光利用は限定的で利用者数は伸び悩み。

3. インフラ維持コストの高さ

- DMV導入に伴うモードインターチェンジなどの特殊設備が高コスト。
- あすなろ鉄道も老朽化した車両・施設の更新に課題。

4. 制度的支援と地域合意形成の難しさ

- 阿佐海岸鉄道は「世界初」のDMV導入を地域の合意で進めたが、実効性に疑問が残る。
- あすなろ鉄道は近鉄のBRT化提案を市が拒否し、鉄道存続を選択した経緯がある。

-
- 制度の象徴性と実効性の乖離: 両鉄道とも「制度的に守られた交通機関」であるが、実際の利用実態や経済効果とのギャップが大きい。
 - 地域交通の再定義: 観光資源としての価値だけでなく、地域住民の移動手段としての持続可能性をどう確保するか。
 - 文化・心理的価値の再評価: ナローゲージや DMV といった「珍しさ」だけでなく、地域の記憶や風景との結びつきをどう活かすか。
-

1. DMV 導入後の赤字拡大

- DMV(デュアル・モード・ビークル)導入後も赤字が続き、2023 年度の経常損失は約 9,694 万円。
- 利用者数の減少により、運輸収入が前年比で 12.2%減少。

2. 利用者数の水増し問題

- 2024 年 5 月に、利用者数のカウントに不正確な方法(定期利用者の見積もり計上、企画乗車券の重複カウントなど)が判明。
- 実際の乗車人員は 3 万 1,348 人で、前年度より 21%減少。

3. 需要予測の大幅な乖離

- DMV 導入前に年間 7 万 5,000 人の乗車を予測していたが、実際はその半分以下。
- 地域経済への波及効果も、予測の約 2 億 1,400 万円に対し、現状では半分程度と見られる。

4. 地域人口の減少と過疎化

- 沿線地域(徳島県海陽町～高知県東洋町)は過疎化が進み、定常的な利用者確保が困難。
- DMV の観光資源としての価値はあるが、地域住民の移動手段としての需要は限定的。

5. 運行コストと収益の乖離

- DMV は話題性があるものの、運行コストが高く、収益とのバランスが取れていない。
- 100 円の収入に対して 1,400 円のコストがかかるという試算もある。

対応策と今後の課題

- 2024 年 3 月のダイヤ改正で減便を実施し、運行経費の削減を図る。
- 徳島県と協議し、乗車数の正確な把握のためのデジタル化を検討中。
- 「世界初の DMV」という話題性に頼らず、地域交通としての持続可能性を再構築する必要がある

- 感想

今後、あすなろ鉄道は10年間で約28億の四日市市の持ち出しが確定している、車両倉庫の改築を始め、まだまだ市の負担が予想される、「公共交通の守り方」も様々な考え方のもと、費用対効果を突き詰めてゆく事を忘れないようにしなければならない。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和7年7月30日

実施日時	令和7年7月17日（木）
参加者氏名	市民目線の会 田中 徹、小林博次、水谷一未
用務先	高松市役所（高松市中央商店街の再開発事業について）
対応者	高松市都市整備局 石川 洋鎧 高松市都市整備局中心市街地活性化 波多 康太郎
目的・内容	別紙
成果・所感	別紙

円高松市中心市街地活性化計画の概要

四日市市における中心市街地活性化計画の類似点 と展望

質問事項

高松市の公共施設の中で、土地の賃貸物件はありますか？あれば具体的に教えて頂きたいです(例～駅前
の部分は一部賃貸で定期借地権だとか)

駅前再開発は民間の力でと伺っておりますが、行政はどれくらいの資金を補助していますか？現在も進
行形と聞いておりますが、今後の補助金の在り方は？

平成 24 年度に申請された特区について、又、「保留条件に対する対応」はどの程度あり、具体例を教え
て下さい。文章だけでは、頭に入らずよろしく願いいたします。

人口減少の中、オーバーストア状態であるように思いますが、店舗 1030 件に対し 1F で 11.4%の空き
店舗率と驚異的な数字と思いますが、今後も推移すると思いませんか？

自転車が商店街の中を自由に通行していますが、安全対策等は考えていますか？又駐輪場の考え方、駐
車場の考え方はどうですか？

都市政策、商業環境、交通安全、そして特区制度まで網羅されていて、まるで高松市の未来を見
据えた都市計画レビューのようです。以下、項目ごとに整理します

公共施設の土地賃貸物件について

高松市では、市有地の未利用地の一部を貸付対象として公開している。用途は主に「駐車場」「資
材置場」などで、建物の所有を目的とする利用は原則除外される。

- 例：庵治町・香川町・松縄町などに宅地や雑種地があり、貸付中の物件も存在
- 問い合わせ先：高松市 財産経営課 財産管理係(087-839-2270)

また、駅前の再開発エリア(丸亀町など)では、定期借地権を活用した民間主導の再開発が行わ
れており、土地の所有と利用を分離する方式が採用されています。駅前再開発と行政の資金補
助がある

高松市の市街地再開発事業は、第一種市街地再開発事業として民間主導で進められていま
すが、行政も補助金を通じて支援している

- 例) 2024 年度予算では、ことடன்新駅整備に約 3.6 億円、周辺整備に約 2.3 億円を補助
- 再開発事業の資金は、保留床の売却収入+国・県・市の補助金で構成

今後の補助金の在り方については、交通ネットワーク整備や脱炭素化、子育て支援などと連動した都市再生の一環として継続的な支援が見込まれている

平成 24 年度の特区申請と保留条件への対応

平成 24 年度に高松市が申請した特区は「高松コンパクト・エコシティ特区」で、中心市街地と田園地域の連携による地域産業の再構築を目指すものでした。

- 特区内での事業例：
 - 丸亀町ファクトリー事業(職人による創作販売)
 - 地産地消型ショップ導入
 - 総合生鮮市場事業
 - カーシェアリング事業
 - 商店街による医療法人設立(福利厚生事業)

保留条件への対応としては、税制・規制緩和の提案が複数あった。

- 定期借地権の減価償却対象化
- 商店街振興組合の医療事業への規制緩和
- 市民ファンド創設による資金調達支援

これらは一部が国の制度に反映され、地域再生計画として継続的に評価されている。

空き店舗率と今後の推移

2024 年 12 月時点での高松中央商店街の空き店舗率は：

区分	店舗数	空き店舗数	空き店舗率
全フロア	1,030 店舗	164 店舗	15.9%
1 階部分	648 店舗	79 店舗	12.2%

この数字は全国平均より高く、特に中心市街地の空洞化が進行している兆候と見られています。今後も人口減少や消費行動の変化により、空き店舗率は横ばい～微増傾向で推移する可能性が高いと予測されています。

商店街の自転車通行と安全対策・駐輪場

高松市では、自転車の利便性向上と安全対策の両立を目指し、複数の駐輪場やサイクル&バスライド駐輪場を整備している

- 商店街周辺の主な駐輪場：
 - 瓦町地下自転車駐車場(960台、6:00～23:00)
 - 高松駅前広場地下駐輪場(2,307台、4:00～翌2:00)
 - 丸亀町壱番街駐車場(商店街直結)
- 安全対策：
 - 自転車通行のルール啓発
 - 歩行者との共存を意識した通行帯の整備
 - 駐輪場の分散配置による歩道の混雑緩和

今後は、電動自転車やカーシェアとの連携、スマート駐輪システムの導入も検討されている。

感想 30年前から動き出したという開発計画先見性と考え方
方に脱帽する、マンションは、街を悪くすると考えていま
した、駐車場も1回2階は店舗にしたり、考え抜かれている部
分もあり、流動人口9千人をキープしてゆけるように努力し
ている状態です。

今後四日市市の中心市街地活性化は市と地元住民が、20年先
を見据えて考えて行かなければならないと感じ、未来を見据
え発展してゆくことが出来るかが大切です。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 7年 7月 30日

実施日時	令和7年 7月15日（水）14時00分～16時00分
参加者氏名	小林博次議員、田中徹議員、水谷一未、
用務先	徳島市立図書館の整備について
対応者	徳島市教育委員会 社会教育課 管理係係長 平山 様 徳島市教育委員会 社会教育課 管理係主査 吉岡 様 TRC 徳島私立図書館 館長 廣澤 様 徳島市 議会事務局議事調査課 主事 豊田 様
目的・内容	徳島市立図書館は、旧図書館の老朽化や利便性の課題を解決するため、駅前商業ビル内に移転整備された。図書館運営には指定管理者制度を導入し、ICTを活用した利便性向上や地域団体との連携、ゾーニングによる多様な利用者層への対応など、先進的な工夫が随所にみられる。今後、四日市市でも中心市街地での公共施設再整備や図書館機能の再構築が課題となる中、徳島市立図書館の事例から得られる知見を把握し、利便性・運営効率・公共性の調和した施設運営のあり方を学ぶことを目的に視察を行った。
成果・所感	別紙 1

徳島市立図書館は、立地の優位性と柔軟な運営設計を活かし、従来型の「静」の空間に加え、「動」の空間も共存させたバランスの取れた施設だった。

- ゾーニングの工夫：5階は子ども連れが気兼ねなく利用できる空間、6階は一般閲覧・学習用と社会人席など静かな空間が確保されており、階層を分けることで利用者ニーズの棲み分けがなされていた。
- 社会人席・学生自習室：奥まった場所に専用席を設け、静かに集中できる環境を提供。2時間予約制で延長可能。学習意欲の高い若者や社会人に好評で、自習室も利用率が高い。
- ICTの導入：自動貸出返却機、書籍消毒機、読書記録帳、電子図書館を整備。特に電子図書館はコロナ禍を契機に利用が急増し、郷土資料の電子化・オープンアクセスなど工夫がみられた。
- 市民との協働・地域連携：学生・ボランティアの活用、消防・鉄道会社・子育て支援団体との連携事業、展示スペースの市民開放など、図書館を「地域のハブ」として機能させていた。
- 指定管理者制度の活用：運営はTRCが担い、目標指標を設けながらPDCAサイクルを回し、サービス品質維持と向上を図っていた。厳しい評価制度も明確に示されており、行政と民間の役割分担が明快だった。
- 課題認識と対応：利用者の減少傾向や駐車場不足などの課題もあったが、利用者ニーズに対応するための柔軟な改善努力が続けられていた。イベント開催や利便性向上による来館促進策も印象的だった。

図書館は単に本を貸す場ではなく、人が集い、学び、地域とつながる拠点であることを再認識する機会となった。図書館機能の再整備を考えるうえで、立地、運営形態、ICT導入、ゾーニング、地域協働、全ての視点において多くの示唆を得ることができた。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 7年 7月 30日

実施日時	令和7年 7月17日（木）10時00分～12時00分
参加者氏名	小林博次議員、田中徹議員、水谷一未、
用務先	高松市市役所
対応者	高松市都市整備局都市計画課 課長補佐 石川様 高松市都市整備局都市計画課中心市街地活性化係 係長 波多様
目的・内容	<p>中心市街地の活性化に向けて高松市が実施してきた商店街の再整備事業について、その具体的な手法や官民連携の体制、成果と課題を学び、今後の本市におけるまちづくりの方向性を検討するため</p> <p>中心市街地のにぎわい創出、商店街の再生と活性化、及び公共施設との複合化によるまちづくりの推進について、高松市の取組を視察し、本市における今後の参考とすることを目的とする。</p>
成果・所感	別紙 1

資料別添付

別紙 1

高松市では、2000年代初頭から中心市街地の再生に向けて、地元地権者や商店主、行政が一体となって段階的な整備を進めてきた。特に丸亀町商店街における再開発は全国的にも注目され、先進事例として多くの自治体が視察に訪れている。

今回の視察では、主に以下の点について説明を受け、現地確認を行った。

1. 民間主導によるまちづくり会社（TMO）の設立と役割

- ・再開発にあたり、丸亀町商店街振興組合を母体とするまちづくり会社を設立。
- ・地権者による合意形成を丁寧に行い、信頼関係に基づく再整備を段階的に進行。
- ・行政は基盤整備や公共施設整備に協力し、官民が役割を分担。

2. 商業・住宅・公共施設の複合整備

- ・再開発ビル内に市立図書館、医療機関、子育て支援拠点等を誘致。
- ・「住む・働く・集う」が一体となった都市機能を回遊性のある空間に集約。衣食住の衣は医だと説明をうけた。医療は生活に直結する重要な観点である。
- ・居住人口を増やすことで、夜間や休日にもぎわいが続く構造を実現。

3. アーケード整備やユニバーサルデザインの導入

- ・景観や快適性に配慮したアーケード整備。
- ・高齢者や障がい者も利用しやすいバリアフリーな環境づくり。

4. 空き店舗対策や商店主の継承支援

- ・若手経営者の起業支援やクリエイター誘致など、新たな担い手の育成。
- ・地域資源を活かしたイベントやプロモーションで来街者の増加を図る。

視察を通して、単なるハード整備に留まらず、地域の担い手が長期的視点で関わるまちづくりが高松市の商店街再生の核となっていることを実感した。地権者を中心に主体的に構想し、行政は黒子としてサポートに徹する姿勢が成果につながっている。

また、図書館や医療施設、居住機能などの公共性を組み込むことで、商店街が「買い物の場」から「暮らしの場」へと転換している点は、特に高齢化が進む本市においても大変参考になる。

- ・ 中心市街地の再整備にあたっては、エリアマネジメント組織の立ち上げ支援を検討すること。
- ・ 公共施設と商業施設を一体で整備し、多世代が利用しやすい都市空間の形成を図ること。

- 地域に根ざした事業者とともに、空き店舗の活用や創業支援を展開し、新しい担い手を育てていくこと。
- 市民・事業者・行政が共に学び合い、信頼関係のもとでまちづくりを進めていく「協働の文化」を醸成すること。

高松市の事例は、地方都市における持続可能なまちづくりの一つのモデルであり、本市においても再整備を進める際の大きな示唆を得た。今後の市政運営に活かしていきたい。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 7年 7月 30日

実施日時	令和7年 7月16日（水）12時50分～16時00分
参加者氏名	小林博次議員、田中徹議員、水谷一未、
用務先	安佐海岸鉄道 安佐海岸鉄道 デュアルモードビークル（DMV）について
対応者	安佐海岸鉄道株式会社 平道知代 様
目的・内容	<p>本視察の目的は、全国で初めて営業運行を開始した「デュアルモードビークル（DMV）」の導入に至る経緯と、その運行体制・利便性・地域交通への影響などを把握し、今後の地方公共交通のあり方を考えるうえでの示唆を得ることである。</p> <p>DMVは、鉄道と道路の両方を走行可能な次世代型の乗り物で、鉄道区間では線路を走行し、道路区間ではバスのようにタイヤ走行を行う。鉄道利用の減少に伴う路線の維持困難という課題に対し、車両やインフラの効率活用と、新たなモビリティによる観光・地域振興を両立させる新しい取り組みである。</p> <p>今回は、阿佐海岸鉄道株式会社の関係者より、DMV導入に至る背景、制度的な課題、導入後の反響、観光資源との連携などの説明を受け、実際に乗車して運行状況も確認した。</p>
成果・所感	別紙 1

資料別添付

別紙 1

今回の視察を通じて、DMV という交通手段が持つ「可能性」と「現実的な課題」の両面を肌で感じる事ができた。

まず、DMV は交通空白地の解消に資する柔軟なモビリティであるという印象を強く受けた。鉄道インフラが残る地域において、その資産を活かしつつ、道路への接続によって「ドア・ツー・ドア」に近い移動を実現しており、高齢者や観光客の利便性向上に貢献している。また、1台で鉄道とバスの機能を併せ持つことによる車両コストの削減や、運転士の効率的運用も、地方交通の持続可能性という観点から大きな意義を持つ。

一方で、DMV の導入に至るまでには、制度面・運行面・整備面など多くの調整と工夫が必要であったことも確認できた。特に、鉄道法・道路交通法双方の適用、転換施設の安全性確保、運転士の多様な訓練、運行ダイヤの調整など、既存制度にない仕組みの導入には多大な労力が必要だったとの説明があった。さらに、乗客数の増加には観光資源との連携が不可欠であり、周辺施設との一体的なまちづくりが重要な鍵を握っている。

実際に DMV に乗車した際には、線路から道路への切り替えがスムーズで、車内の乗り心地も良く、地域の小中学生や観光客の利用も見受けられた。新しい交通インフラが「移動の利便性」だけでなく、「地域の誇り」として受け入れられ、次世代の公共交通のモデルとなっていることを実感した。

四日市市において DMV そのものの導入は現実的ではないにせよ、今後の公共交通を考えるうえで、複数の交通手段を連携させる「モビリティ・ミックス」や、利便性・観光性・持続可能性を兼ね備えた地域交通のあり方について大きな示唆を得ることができた。特に、廃線や過疎地問題を抱える地域において「残す」ではなく「変えて活かす」発想の重要性を学ぶ機会となった。

年	月	日	符号	お支払金額(円)	お預り金額(円)	差引	残高(円)	備考
7-	1-	9	900	タカト札	*50,000		*71,368	105
7-	1-	23	200		*11,139	SMBC(キヤノ)	*60,229	105
7-	1-	23	200		*22,620		*37,609	105
7-	1-	30	900	セムカツトウヒ(キカイ)	*59,055		*96,664	105
7-	2-	3	200		*21,450	シャ-フファイナンス	*75,214	105
7-	2-	19	900	セムカツトウヒ(キカイ)	*33,359		*108,573	105
7-	2-	22	100	お利息	*22		*108,595	105
7-	2-	25	200		*32,576	SMBC(キヤノ)	*76,019	105
7-	3-	3	200		*21,450	シャ-フファイナンス	*54,569	105
7-	3-	24	200		*13,929	SMBC(キヤノ)	*40,640	105
7-	3-	31	200		*5,049	SIMカード支払い 9~2A	*35,591	105
7-	4-	3	200		*21,450	シャ-フファイナンス	*14,141	105
7-	4-	14	900	セムカツトウヒ(キカイ)	*94,454		*108,595	105
7-	4-	23	200		*10,716	SMBC(キヤノ)	*97,879	105
7-	5-	7	200		*21,450	シャ-フファイナンス	*76,429	105
7-	5-	23	200		*38,165	SMBC(キヤノ)	*38,264	105
7-	6-	3	200		*21,450	シャ-フファイナンス	*16,814	105
7-	6-	23	900	タカト札	*100,000		*116,814	105
7-	6-	23	200		*18,176	SMBC(キヤノ)	*98,638	105
7-	6-	26	200		*2,550	クレジット	*96,088	105
7-	7-	3	200		*21,450	シャ-フファイナンス	*74,638	105
7-	7-	15	900	セムカツトウヒ(キカイ)	*133,957		*208,595	105
7-	7-	23	200		*20,592	SMBC(キヤノ)	*188,003	105
7-	8-	4	200		*21,450	シャ-フファイナンス	*166,553	105

T1, T2, T3, T4-00

小切手、手形等入金(〇〇は、払戻しができる予定の日を表示いたします。
また払戻しできる時刻は小切手等の種類によって異なります。詳細は窓口へ
お問い合わせください。)

ご請求書 (お引落のお知らせ)

四日市市議会 御中

いつも格別のお引立てを賜り誠に有難うございます。
下記の通りご請求申し上げます。

お客様番号 : BA0296-0006-01
請求書No. : 84585150
締日 : 2025年06月分
ご請求額 (税込) : **¥20,592-**



2025年06月26日



キヤノンマーケティングジャパン株式会社

登録番号 : T5010401008297

お支払方法 : ご指定口座より振替させていただきます。
お引落日 : 2025年07月23日
お引落口座 : ██████████

契約書No. K230196871 設置先名 四日市市議会 市民目録の会

製品名 IR-ADVCS326F

シリアルNo. 4CC17426

今回値

15,808

9,897

14,168

前回値

15,150

9,211

13,280

請求期間

2025/05/23~2025/06/25

伝票No. KE000147499900

解除数

3

3

4

ご使用数

655

683

884

数量・月数

655

683

884

単価

13.00

13.00

1.50

金額

8,515

8,879

1,326

(ミニマム 200シート/月含む)

<各種サービス料金合計>

料金合計 (税抜) 18,720
(10%対象) 18,720
消費税等 1,872
ご請求額合計 20,592